

## 21 地域へ届け！私たちの思い

### ～下高井農林高校グリーンデザイン科の取組 2020～

下高井農林高等学校 グリーンデザイン科3年 ○上埜 達郎  
○河野 悟大  
○赤池 樹

#### 1. 課題を取り上げた背景

本校グリーンデザイン科では地域に眠る資源を発掘し、抱える課題に目を向け、「ものづくり」を中心に活動を展開してきました。1年間の学びで身につけた知識・技術を確実に先輩から後輩へ受け継ぎ、その活動は年輪のように確実に刻み込まれています。

本日は、私たちが実践した2つの活動を発表させていただきます。

#### 2. 活動報告

##### ①木の良さを子どもたちに伝える(木育)

木育教育の一環として、幼い頃から身近に木を感じ、実際に触ってもらうことで木に親しんでもらうことを目的として昨年度より地元保育園で交流を行っています。昨年度の課題から今年は使用する木材を地元の間伐材を使用してより、身近な木の温かみを感じてもらえるものにしようと考えました。まず、昨年度寄贈した木製玩具の使用状況や対象年齢など細かく聞く中で、園児は外で遊ぶ時間が多いことや、遊び方を自分たちで考えるのが良いというアドバイスをいただきました。そのようなヒントから私たちは、多くの園児に持続して使用してもらえるものを考え、保育園に提案し、製作に入りました。製作したものは8角形のベンチとお祭りなどで見かける屋台です。8



図1 打ち合わせの様子

角形のベンチは、保育園内にあるサクラノボの木の周りに設置できるように設計し、園児がベンチに上り、サクラノボを取り、座って食べる規格のものにしました。屋台は園児が触れるところはニスを塗らず、木本来の質感が伝わるように丁寧に面取りとやすりがけを心掛けました。

##### ②バンブーキャンドルの製作と活用について

山ノ内町湯田中温泉街で放置され、現在も拡大をしているモウソウチクの竹林を整備し、切り出した竹を資源と考え、バンブーキャンドルを製作するようになり今年で4年目になりました。

放置竹林には多くの問題点があり、地域の植生や治山環境を悪化させるほか、獣害の巣にもなっています。この状況を改善するため、バンブーキャンドルの製作に取り組み、同時に竹の新たな利用方法を地域に発信しました。

昨年度自動点灯・自動消灯の課題をクリアし、今年度は地元の馬曲温泉公園の園路に常設できるように提案しました。30本以上を設置し、望郷の湯をうたった馬曲温泉にふさわしい演出ができました。コロナ禍で活動はかぎられましたが、感染対策等十分に配慮し、オープンスクールにて中学生や地元の方を対象に体験講座を開き、放置竹林の問題やものづくりによって観光資源になることを発信することができました。



図2 設置の様子

#### 3. 今後の展開

今後も、地域に目を向け、地域の課題を探り、地域の資源を活用しながら私たち高校生力で地域を動かす原動力に発展させるため、活動を継続していきたいと考えています。